

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

訪問先

株式会社東京ドーム

訪問日時

2025年10月30日(木)

訪問概要・目的

株式会社東京ドーム様への訪問を通して、エンタメ業界への理解を深める。

担当 CVS

飯嶋遥介、船越ゆかり、岩波理桜

報告書作成者

佐久間 麗華

参加学生数

17人(内、1年生4人、2年生13人)

株式会社東京ドーム様(以下、東京ドーム)を訪問し、東京ドーム関連の企画や運営、働き方などについて伺った。東京ドームでは、東京ドーム内でのライブ・試合以外にも、レジャー施設やミュージカル関連の施設、後樂園ホールなど東京ドーム周辺を中心に東京ドームシティを形成し、都市型レジャーを提供している。

今回の訪問では、人事担当のお二人にお話をお聞きし社員目線での東京ドームでの働きがいや、どのような仕事をなさっているのかについてお聞きすることができた。東京ドームについては、後樂園スタジアムという野球場が誕生し1988年に東京ドームが建設されたことから歴史はスタートし、現在では、東京ドームだけではなく、周辺施設にホテルやレジャー施設などをも運営している。その中でもとりわけたくさんのお客様が足を運ぶ東京ドームでは、お客様の安全を第一に考えており”安全活動モデル AAA””安全講習会””救命講習会”などを社員研修で導入しているとのことであった。これらを日頃から取り組むことで、お客様の安全を守れるよう対策していると伺った。また、様々な施設を運営する中で、「高める・作る・届ける」をモットーにイベント会場、商業施設、体験型コンテンツを運営している。

訪問結果

また訪問中には、施設内を案内してもらい、実際にアトラクションに乗ってお客様の気持ちになって考えるという視点にもたちながら施設内を回ることができた。アトラクションの「バ・バ・バ バイキング」では、乗車中に音楽が流れているのだが、そのBGMは社員さんが制作されたというお話をしていただいた。他にも、観覧車の「ビッグ・オー」では観覧車内にカラオケがついており、カラオケ実装の提案をしたのが社員さんの意見というお話もしていただいた。このように、アトラクションの企画に社員さんの意見を反映し、社員一体となって作り上げ、お客様の笑顔を作る基盤を作り上げていることを学ぶことができた。

働き方については、総合職・専門職の二つがあり、4本部28部署あるということであった。しかし、部署の垣根を超えて社員同士の仲が良いとおっしゃっていて、実際に訪問中でも施設内を歩いている際に違う部署の職員さん同士が挨拶をしているような光景を目にすることができたことも印象的であった。他にも、社内では社員自身の成長や考えを反映するための交流会等もあり、仕事をする上での職場の環境作りもしっかりとされている会社だと学ぶことができた。

以上より、今回の企業訪問で東京ドームでの仕事の内容や働き方を学び、実際の社員さんの声を聞くことができた。また、お客様と向き合い、また笑顔にしたいという思いを企業訪問を通して感じることができた。

※訪問時の写真
集合写真



バ・バ・バ バイキングに並んでいる様子

